

産学連携によるユーザーエクスペリエンスデザイン研究

研究内容

情報デザインの分野における大きな課題の1つに、ユーザーエクスペリエンス (UX) デザインがある。UXデザインのためには、真のユーザーのニーズを見出すことが重要である。そのために、実践ワークショップをデザイン開発プロセスに積極的に取り入れることが本研究の特徴である。UXの提供のために、サービス・アプリケーション等の企画をし、ワークショップ、プロトタイプ制作、研究開発、実装をしている。そしてこれらの実践により、デザイン開発プロセス研究を進めている。

地域・産学連携の可能性

これまで、ICT企業とのモバイルアプリの共同研究・開発プロジェクトでは、ニューツーリズムを支援するための観光アプリをリリースした。社会福祉法人との共同研究では、高齢者の自立支援を目的とした「バリアウォーキング」という活動のデザインをしている。2016年からは子育て支援のワークショップ (WS) のデザインをしており、子育て中の母親を対象としたWS (2016~2017年度) と、子育て中の父親対象としたWS (2018年度~現在) をデザインし、実践している。これらに共通していることは、クライアント側の一方的な提供ではなく、ユーザーが真にやりたいことを楽しくできるUXを提供していることである。共同研究により、UXデザインの手法を開発し、企業・団体にUXの実践をし、製品・サービスの開発に寄与したい。



このテーマに関連する
東北SDGs研究実践拠点

医工学・健康福祉研究拠点
地域・地場産業振興研究拠点

このテーマに関連するSDGs開発目標



このテーマに関連する
プロジェクト研究所

AiR 研究所
知能ロボティクス研究所
東北産業デザイン研究所



ライフデザイン学部 産業デザイン学科 情報デザイン、ユーザーエクスペリエンスデザイン

堀江 政広 HORIE Masahiro

教授、博士 (情報科学)

執筆論文

アプリケーションソフトウェアのデザイン開発プロセス研究 - ユーザーエクスペリエンスデザインによるモバイルアプリに関する研究 (東北大学機関リポジトリ、2015)

KeyWord

情報デザイン、ユーザーエクスペリエンスデザイン、UX、ワークショップ、
アジャイルソフトウェア開発、メディア、子育て支援、高齢者福祉、観光